

諸外国における対日メディア世論調査 調査結果

新聞通信事業に関する調査研究、資料収集、講演会の開催などを行っている公益財団法人新聞通信調査会（理事長 長谷川和明）は、2016年1月に「諸外国における対日メディア世論調査」を実施した。

調査は、アメリカ・イギリス・フランス・中国・韓国・タイの6カ国において、各国約1,000人の回答を得た。アメリカ・イギリス・フランス・韓国は電話調査、中国・タイは面接調査で行った。

「対日メディア世論調査」は昨年1月にもこの6カ国で行っており、今回調査は2回目となる。主な調査結果は以下の通りである。

主な調査結果

**新聞の情報信頼度はタイが67.2点で最高。
中国65.2点、韓国56.2点、アメリカ55.7点、
フランス51.7点、イギリス51.2点。**

・新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は100点、全く信頼をしていない場合は0点、普通の場合は50点として点数をつけてもらったところ、タイが67.2点、中国65.2点、韓国56.2点、アメリカ55.7点、フランス51.7点、イギリス51.2点であった。昨年9月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は69.4点だった。（4ページ 図表1）

・新聞の役割については、すべての国で「インターネットなどの普及により新聞の役割が少なくなってくる」が「今までどおり、新聞が報道に果たす役割は大きい」を上回る。アメリカ・フランス・中国・韓国・タイでは「新聞の役割が少なくなってくる」が半数以上。（5ページ 図表2）

テロ報道や情報についての信頼感は、「新聞」「テレビ」が上位。

・テロ報道や情報についての信頼感は、アメリカ・イギリス・フランスでは「新聞」「テレビ」「ラジオ」の3メディアが上位に並ぶ。中国・韓国・タイは「テレビ」「新聞」の順に信頼感が高い。「インターネットのニュースサイト」は中国とタイで3位。（6ページ 図表3）

2016年4月
公益財団法人 新聞通信調査会

主な調査結果 (つづき)

「報道の自由は常に保障されるべきだ」に各国 80% 以上の支持があるも、「圧力は仕方がない」「政府が圧力をかけるのは当然」「報道の自由を振りかざしている」にも 50%以上が賛同。

- ・「報道の自由は常に保障されるべきだ」については、「そう思う」がアメリカ・フランス・韓国で 90%を超え、イギリス・中国・タイで 80%台。(7 ページ 図表 4 (1))
- ・「現在の報道を見ていると、圧力をかけられても仕方がないと思う」については、「そう思う」が中国で 90%近く。次いでタイで 70%。アメリカ・イギリス・フランス・韓国で 50%を超える。(7 ページ 図表 4 (2))
- ・「政府が国益を損なうという理由でメディアに圧力をかけるのは当然だと思うか」については、「そう思う」が中国・タイで約 80%。アメリカ・イギリスで 70%前後。フランス・韓国で 50%強。(8 ページ 図表 4 (3))
- ・「メディアは報道の自由を振りかざしていると思うか」については、「そう思う」がアメリカ・イギリス・韓国で 70%前後。フランス・中国・タイで 50%を超える。(8 ページ 図表 4 (4))

日本のメディアの認知度は韓国が突出。

- ・日本のメディアの認知度は韓国が突出して高く、中国がそれに次ぐ。欧米 3 か国では「知らない」人が 70%以上、アメリカでは 90%近く。知っているメディアでは、「NHK(ワールド TV、ラジオジャパンなど)」がすべての国で 1 位。(9 ページ 図表 5)
- ・日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、タイで 84.2%と高い。他の 5 か国でも半数以上が関心を持っている。(9 ページ 図表 6)

日本についての知識や情報の入手先は「自国のテレビ、新聞、雑誌」、日本のメディアに期待する報道内容は「科学技術」。

- ・日本についての知識や情報の入手先は、すべての国で「自国のテレビ、新聞、雑誌」が 1 位、「インターネット」が 2 位。(10 ページ 図表 7)
- ・日本に関する報道で、各国民が日本のメディアに期待する内容を挙げてもらった。1 位は、タイを除く 5 か国では「科学技術」、タイでは「観光」。2 位には、アメリカ・イギリス・韓国は「国際協力、平和維持活動」、フランスは「歴史と文化」、中国は「ファッション、アニメ、音楽」、タイは「科学技術」「生活様式、食文化」が続く。(10 ページ 図表 8)

訪日経験があるのは韓国で49%。 アメリカ・中国は10%超。

・訪日経験があるのは韓国で49.2%。アメリカ(13.1%)・中国(11.6%)は10%超え。イギリス・フランス・タイは10%未満。(11ページ 図表9)

・行ってみたいところを挙げてもらったところ、すべての国で「東京」が1位。以下、僅差でアメリカ・イギリス・フランス・中国・タイは「富士山」、韓国は「北海道」が続く。(11ページ 図表10)

・日本で体験してみたいことを挙げてもらったところ、アメリカ・イギリス・フランス・中国・タイは「京都など日本の文化と歴史ある街を観光する」「日本食を食べる」が上位2位に。韓国は「温泉に入る」が1位。(11ページ 図表11)

日本に対する好感度はタイで90%超、アメリカで80%近く。 イギリス・フランスは70%前後。中国、韓国は30%前後。

・日本について「好感が持てる」はタイで90.8%、アメリカで78.6%。イギリス・フランスは70%前後。中国は27.8%、韓国は32.3%と低い。(12ページ 図表12)

・欧米3か国は相互に好感度が高いが、中国はイギリス・フランス・韓国・タイ・アメリカの順に、韓国はアメリカ・イギリス・フランス・中国の順に、タイは日本・イギリス・アメリカ・フランス・韓国・中国の順に50%以上の好感度。(12ページ 図表12)

・日本への信頼度は好感度と同様であるが、中国17.6%、韓国17.2%と極端に低い。(12ページ 図表13)

日本と聞いて思い浮かべること、アメリカは「第二次世界大戦」、 イギリス・タイは「日本食」、フランスは「文化」、中国は「抗日戦争」、 韓国は「嫌い」が1位。

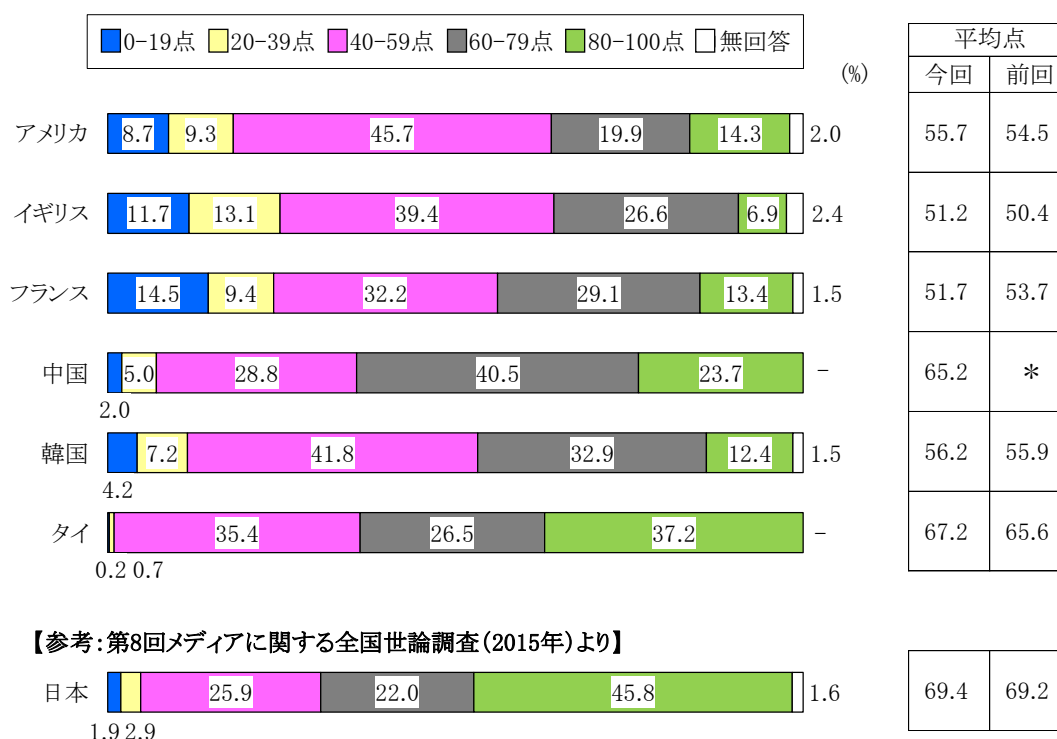
・日本と聞いて思い浮かべることを挙げてもらったところ、アメリカは「第二次世界大戦、原爆、真珠湾」、イギリス・タイは「日本食、寿司など」、フランスは「文化、文明、伝統、芸術」、中国は「抗日戦争、中国侵略」、韓国は「嫌い、不快、不信」が1位。

・欧米の3か国では、「日本食」「文化」「科学技術」、中国、韓国は近代の歴史にまつわる事柄、タイは観光に関連する事柄が、それぞれ上位に挙げられた。(13ページ 図表14)

新聞の情報信頼度はタイが67.2点で最高。 中国65.2点、韓国56.2点、アメリカ55.7点、 フランス51.7点、イギリス51.2点。

- 新聞の情報をどの程度信頼しているかを、全面的に信頼している場合は100点、全く信頼していない場合は0点、普通の場合は50点として点数をつけてもらったところ、タイが67.2点(前回65.6点)、中国65.2点、韓国56.2点(前回55.9点)、アメリカ55.7点(前回54.5点)、フランス51.7点(前回53.7点)、イギリス51.2点(前回50.4点)であった。昨年9月に新聞通信調査会が実施した「メディアに関する全国世論調査」では、新聞の情報信頼度は69.4点(前回69.2点)だった。

図表1 新聞の情報信頼度 (問4)



注1: アメリカは0点~10点で質問したので、回答の数値を10倍した。

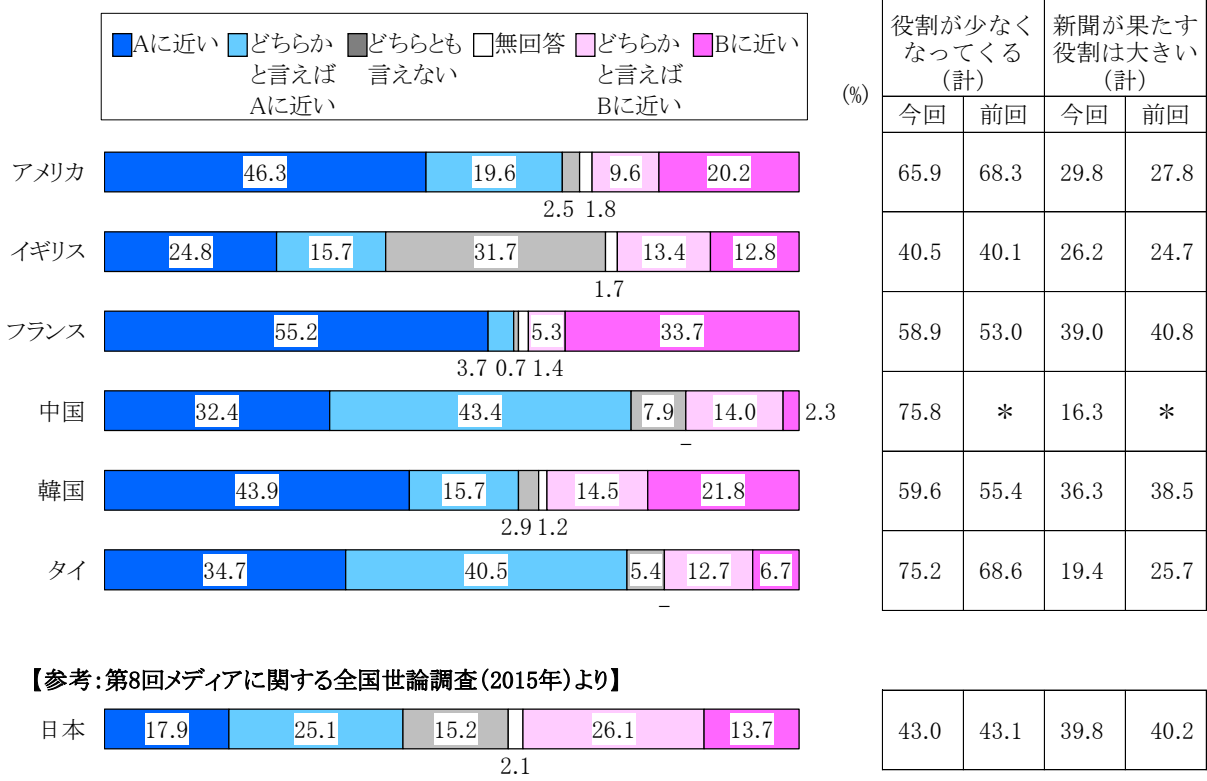
注2: 「第8回メディアに関する全国世論調査(2015年)」は2015年9月に全国18歳以上の5,000人を対象に訪問留置法で行い3,183人(有効回収率63.7%)から回答を得た。

すべての国で「新聞の役割が少なくなってくる」が優勢。

- 新聞の役割については、すべての国で「インターネットなどの普及により新聞の役割が少なくなってくる」が「今までどおり、新聞が報道に果たす役割は大きい」を上回る。アメリカ・フランス・中国・韓国・タイでは「新聞の役割が少なくなってくる」が半数以上。

図表2 将来の新聞の役割（問5）

A インターネットなどの普及により新聞の役割が少なくなってくる
 B 今までどおり、新聞が報道に果たす役割は大きい



【参考:第8回メディアに関する全国世論調査(2015年)より】

注:「第8回メディアに関する全国世論調査(2015年)」は2015年9月に全国18歳以上の5,000人を対象に訪問留置法で行い3,183人(有効回収率63.7%)から回答を得た。

テロ報道や情報についての信頼感は、「新聞」「テレビ」が上位。

- ・テロ報道や情報についての信頼感は、アメリカ・イギリス・フランスでは「新聞」「テレビ」「ラジオ」の3メディアが上位に並ぶ。中国・韓国・タイは「テレビ」「新聞」の順に信頼感が高い。「インターネットのニュースサイト」は中国とタイで3位。
- ・「SNS (facebook, twitter など)」に対する信頼感は各国とも低い。

図表3 テロ報道やテロ情報の信頼性 (問12)

(%)

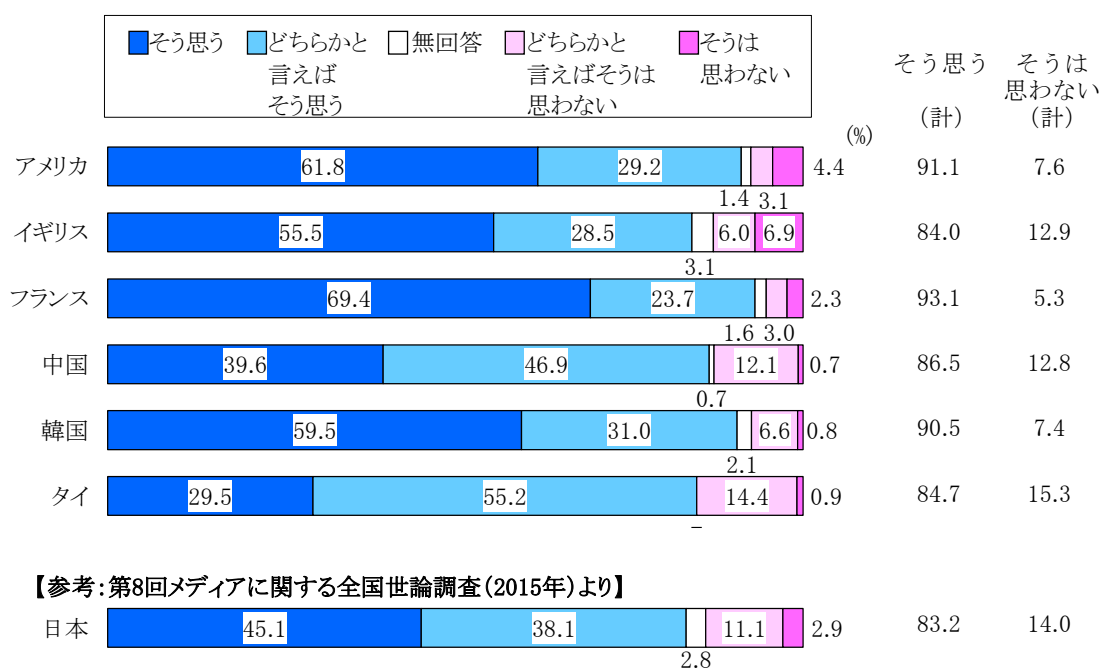
	1位	2位	3位	4位	5位	6位
アメリカ	新聞 74.3	テレビ 71.9	ラジオ 71.0	インターネットのニュースサイト 62.4	雑誌 57.9	SNS (facebook, twitter など) 32.4
イギリス	テレビ 82.7	ラジオ 77.8	新聞 68.3	インターネットのニュースサイト 62.0	雑誌 53.5	SNS (facebook, twitter など) 28.4
フランス	ラジオ 65.1	新聞 63.6	テレビ 58.4	雑誌 53.4	インターネットのニュースサイト 45.7	SNS (facebook, twitter など) 18.9
中国	テレビ 87.4	新聞 81.6	インターネットのニュースサイト 78.2	ラジオ 74.3	雑誌 63.4	SNS (facebook, twitter など) 56.5
韓国	テレビ 80.1	新聞 73.8	ラジオ 64.0	インターネットのニュースサイト 63.1	SNS (facebook, twitter など) 40.3	雑誌 36.5
タイ	テレビ 95.1	新聞 85.6	インターネットのニュースサイト 71.9	雑誌 71.6	ラジオ 68.4	SNS (facebook, twitter など) 61.3

「報道の自由は常に保障されるべきだ」に各国 80%以上の支持があるも、「圧力は仕方がない」「政府が圧力をかけるのは当然」「報道の自由を振りかざしている」にも 50%以上が賛同。

- ・「報道の自由は常に保障されるべきだ」については、「そう思う」がアメリカ・フランス・韓国で 90%を超え、イギリス・中国・タイで 80%台。
- ・「現在の報道を見ていると、圧力をかけられても仕方がないと思う」については、「そう思う」が中国で 90%近く。次いでタイで 70%。アメリカ・イギリス・フランス・韓国で 50%を超える。

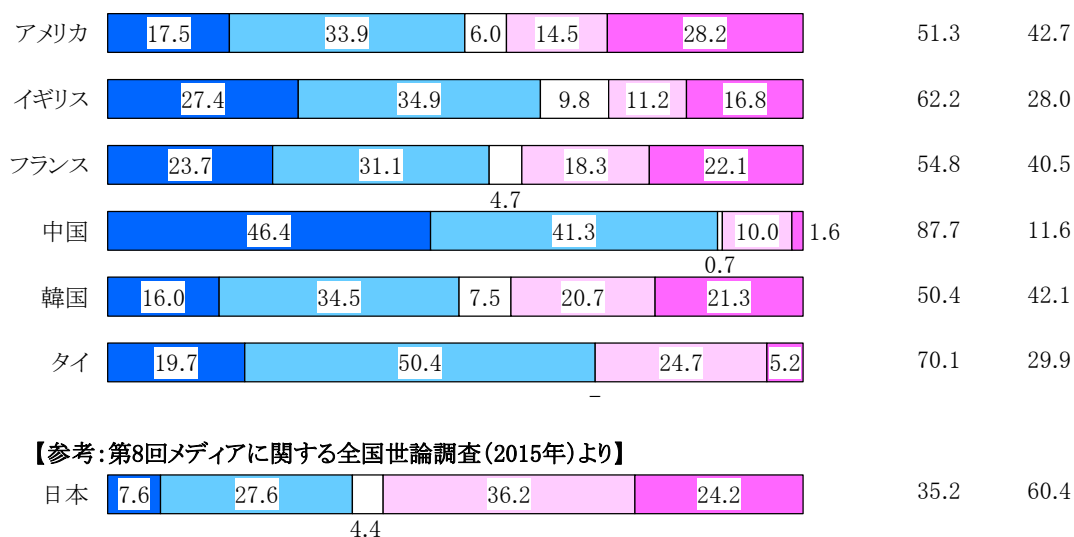
図表 4 報道の自由について (問 13)

(1) 報道の自由は常に保障されるべきだ



【参考:第8回メディアに関する全国世論調査(2015年)より】

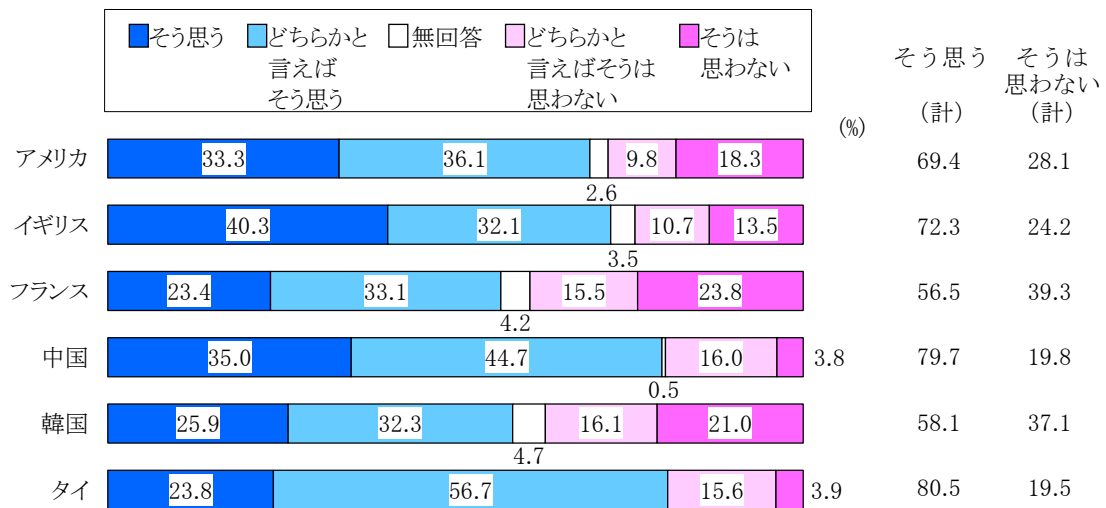
(2) 現在の報道を見ていると、圧力をかけられても仕方がないと思う



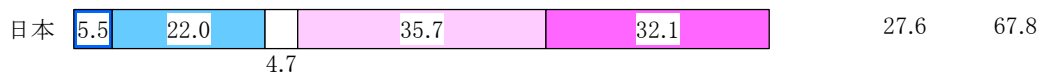
【参考:第8回メディアに関する全国世論調査(2015年)より】

- ・「政府が国益を損なうという理由でメディアに圧力をかけるのは当然だと思うか」については、「そう思う」が中国・タイで約80%。アメリカ・イギリスで70%前後。フランス・韓国で50%強。
- ・「メディアは報道の自由を振りかざしていると思うか」については、「そう思う」がアメリカ・イギリス・韓国で70%前後。フランス・中国・タイで50%を超える。

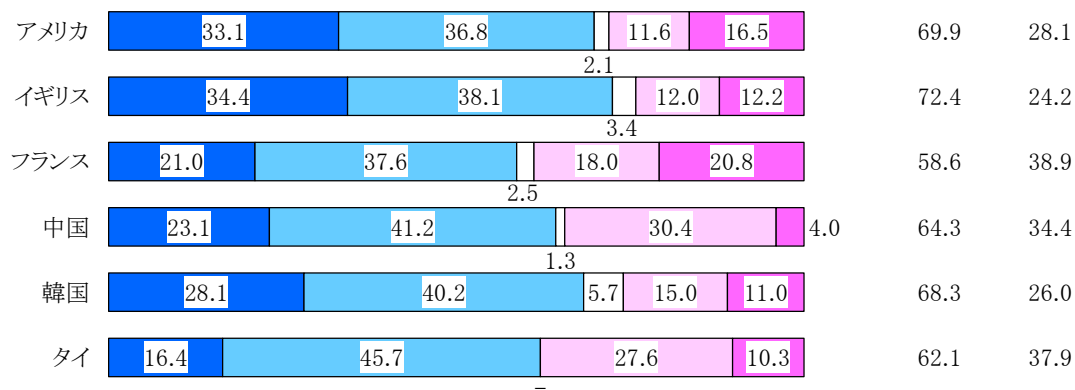
(3) 政府が国益を損なうという理由でメディアに圧力をかけるのは当然だと思う



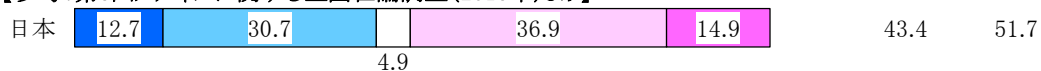
【参考:第8回メディアに関する全国世論調査(2015年)より】



(4) メディアは報道の自由を振りかざしていると思う



【参考:第8回メディアに関する全国世論調査(2015年)より】

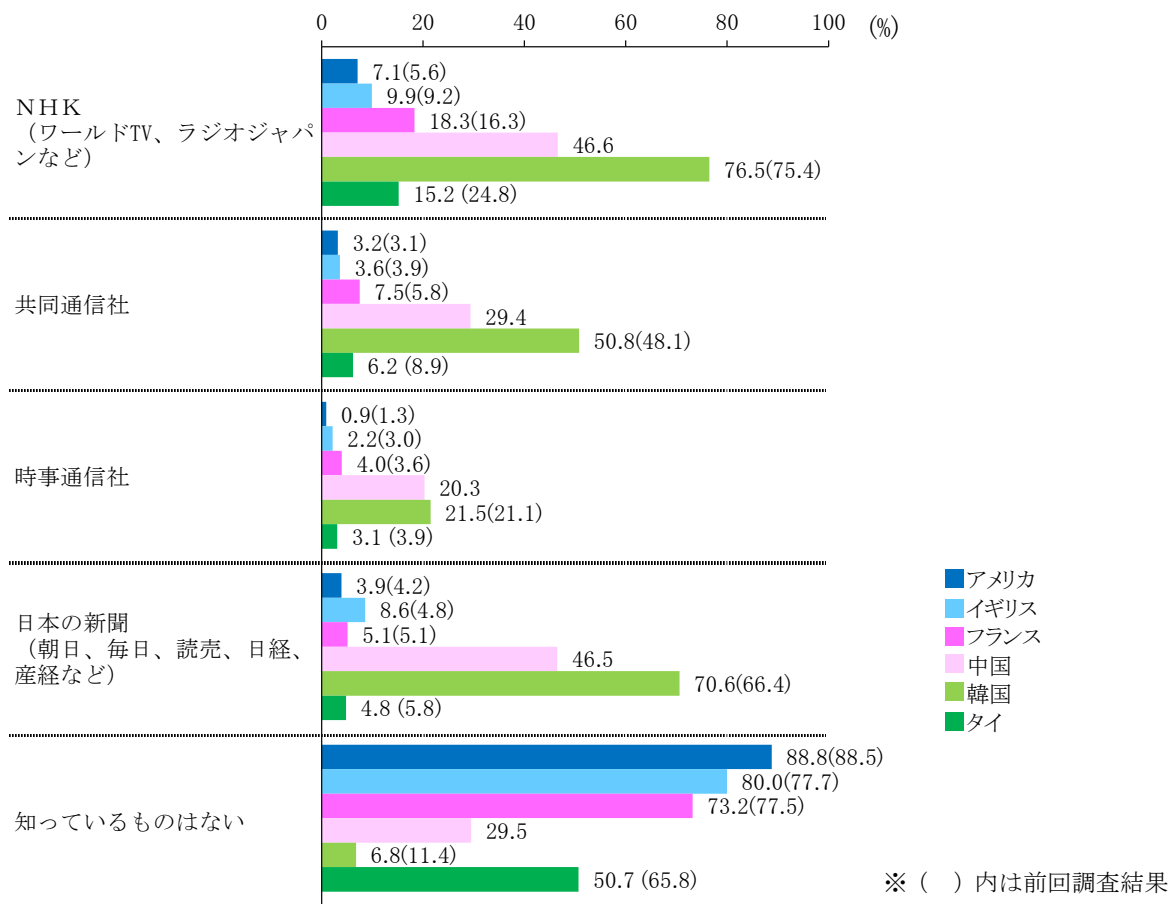


注:「第8回メディアに関する全国世論調査(2015年)」は2015年9月に全国18歳以上の5,000人を対象に訪問留置法で行い3,183人(有効回収率63.7%)から回答を得た。

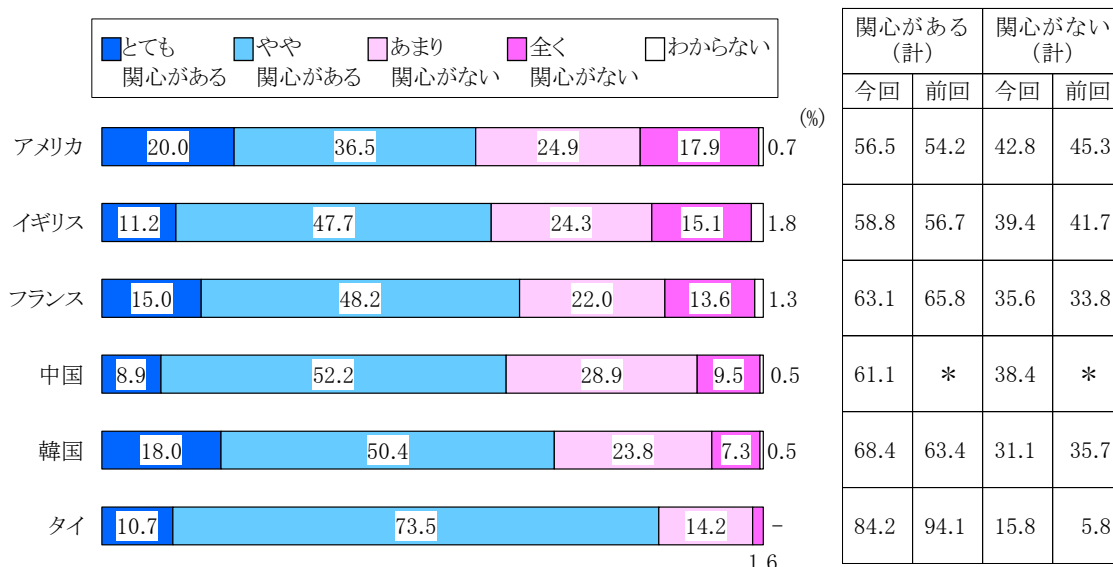
日本のメディアの認知度は韓国が突出。

- 日本のメディアの認知度は韓国が突出して高く、中国がそれに次ぐ。欧米3か国では「知らない」人が70%以上、アメリカでは90%近く。知っているメディアでは、「NHK(ワールドTV、ラジオジャパンなど)」がすべての国で1位(複数回答)。
- 日本のことが報道されると関心を持って見聞きするのは、タイで84.2%と高い。他の5か国でも半数以上が関心を持っている。

図表5 日本のメディアの認知度(複数回答)(問6)



図表6 日本のことが報道されると関心を持つか(問7)



日本についての知識や情報の入手先は「自国のテレビ、新聞、雑誌」、日本のメディアに期待する報道内容は「科学技術」。

- ・ 日本についての知識や情報の入手先は、すべての国で「自国のテレビ、新聞、雑誌」が1位、「インターネット」が2位（複数回答）。
- ・ 中国では「インターネット」の比率が75.3%と「自国のテレビ、新聞、雑誌」（77.5%）と僅差。
- ・ 日本に関する報道で、各国民が日本のメディアに期待する内容を挙げてもらった。1位は、タイを除く5か国では「科学技術」、タイでは「観光」。2位には、アメリカ・イギリス・韓国は「国際協力、平和維持活動」、フランスは「歴史と文化」、中国は「ファッション、アニメ、音楽」、タイは「科学技術」「生活様式、食文化」が続く。

図表7 日本に関する情報の入手先（複数回答）（問3）

(%)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
アメリカ	自国のテレビ、新聞、雑誌 41.9(40.3)	インターネット 20.7(20.6)	自分の家族や親戚、知人 19.2(22.5)	学校教育 15.4(18.3)	日本人の友人、知人 15.1(17.1)	訪日経験 9.0(7.8)
イギリス	自国のテレビ、新聞、雑誌 78.7(76.4)	インターネット 44.3(41.7)	自分の家族や親戚、知人 28.7(20.9)	学校教育 28.6(21.7)	日本人の友人、知人 15.2(13.0)	訪日経験 5.7(6.6)
フランス	自国のテレビ、新聞、雑誌 87.7(87.4)	インターネット 50.1(46.4)	学校教育 41.7(41.1)	自分の家族や親戚、知人 38.9(31.7)	日本人の友人、知人 18.9(14.7)	訪日経験 4.0(4.6)
中国	自国のテレビ、新聞、雑誌 77.5	インターネット 75.3	自分の家族や親戚、知人 29.4	学校教育 27.4	日本人の友人、知人 14.9	訪日経験 11.6
韓国	自国のテレビ、新聞、雑誌 74.6(66.8)	インターネット 44.2(43.2)	自分の家族や親戚、知人 12.9(10.7)	訪日経験 11.4(9.3)	学校教育 11.3(6.1)	日本人の友人、知人 9.4(5.8)
タイ	自国のテレビ、新聞、雑誌 95.1(94.2)	インターネット 43.6(43.7)	自分の家族や親戚、知人 42.2(31.5)	日本人の友人、知人 6.8(6.5)	学校教育 1.9(5.8)	訪日経験 1.5(2.5)

※（ ）内は前回調査結果

図表8 日本のメディアに期待する報道内容（問8）

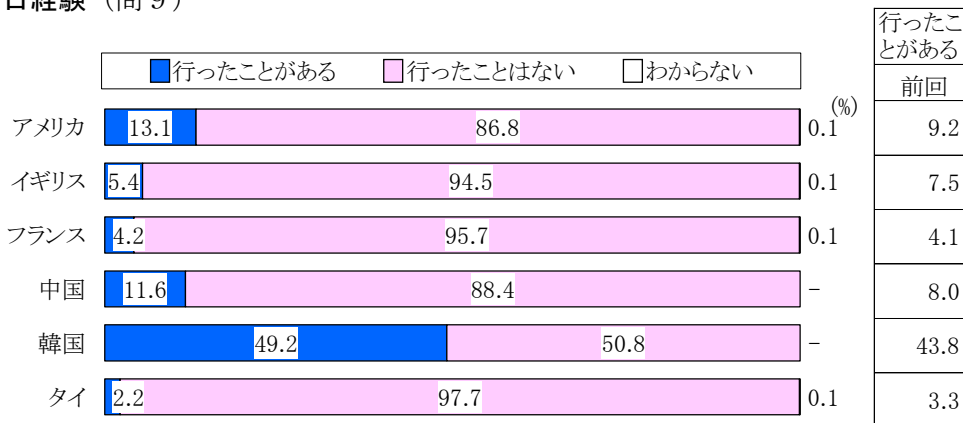
(%)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
アメリカ	科学技術 80.1	国際協力、平和維持活動 74.5	政治、経済、外交政策 69.0	歴史と文化 68.7	生活様式、食文化 63.5	観光 59.9	ファッション、アニメ、音楽 38.8
イギリス	科学技術 66.5	国際協力、平和維持活動 59.3	観光 55.7	歴史と文化 55.2	政治、経済、外交政策 51.7	生活様式、食文化 51.7	ファッション、アニメ、音楽 32.2
フランス	科学技術 77.5	歴史と文化 76.2	生活様式、食文化 75.3	国際協力、平和維持活動 71.1	観光 70.4	政治、経済、外交政策 64.6	ファッション、アニメ、音楽 48.1
中国	科学技術 78.2	ファッション、アニメ、音楽 69.2	生活様式、食文化 65.2	観光 64.7	政治、経済、外交政策 54.3	歴史と文化 53.6	国際協力、平和維持活動 30.1
韓国	科学技術 79.4	国際協力、平和維持活動 68.7	政治、経済、外交政策 66.8	観光 60.3	歴史と文化 59.4	生活様式、食文化 56.4	ファッション、アニメ、音楽 40.7
タイ	観光 88.9	科学技術 84.1	生活様式、食文化 84.1	歴史と文化 82.5	国際協力、平和維持活動 80.4	政治、経済、外交政策 79.0	ファッション、アニメ、音楽 66.7

訪日経験があるのは韓国で49%。アメリカ・中国は10%超。

- ・ 訪日経験があるのは韓国で49.2%。アメリカ（13.1%）・中国（11.6%）は10%超え。イギリス・フランス・タイは10%未満。
- ・ 行ってみたいところを挙げてもらったところ、すべての国で「東京」が1位。以下、僅差でアメリカ・イギリス・フランス・中国・タイは「富士山」、韓国は「北海道」が続く（複数回答）。
- ・ 日本で体験してみたいことを挙げてもらったところ、アメリカ・イギリス・フランス・中国・タイは「京都など日本の文化と歴史ある街を観光する」「日本食を食べる」が上位2位に。韓国は「温泉に入る」が1位（複数回答）。

図表9 訪日経験（問9）



図表10 日本で行ってみたいところ（複数回答）（問11）

	順位					
	1位	2位	3位	4位	5位	6位
アメリカ	東京 39.6	富士山 35.3	九州、沖縄 24.3	TDR、USJ 21.6	京都、奈良 18.7	北海道 11.4
イギリス	東京 77.9	富士山 75.2	京都、奈良 47.9	九州、沖縄 45.6	TDR、USJ 38.2	北海道 32.9
フランス	東京 83.7	富士山 79.0	北海道 61.0	京都、奈良 60.3	九州、沖縄 56.0	TDR、USJ 41.1
中国	東京 66.4	富士山 63.3	北海道 56.5	TDR、USJ 35.7	京都、奈良 34.6	九州、沖縄 25.4
韓国	東京 32.3	北海道 28.2	九州、沖縄 23.6	富士山 16.9	京都、奈良 16.2	TDR、USJ 14.5
タイ	東京 78.0	富士山 68.2	北海道 59.3	京都、奈良 41.9	九州、沖縄 37.2	TDR、USJ 25.9

図表11 日本でしたいこと（複数回答）（問10）

	順位				
	1位	2位	3位	4位	5位
アメリカ	京都など日本の文化と歴史のある街を観光する 52.1	日本食を食べる 34.5	買い物をする 24.8	温泉に入る 24.1	ポップカルチャーに触れる 19.6
イギリス	京都など日本の文化と歴史のある街を観光する 79.2	日本食を食べる 69.7	温泉に入る 61.0	買い物をする 60.5	ポップカルチャーに触れる 32.1
フランス	京都など日本の文化と歴史のある街を観光する 87.4	日本食を食べる 77.5	温泉に入る 77.1	買い物をする 56.0	ポップカルチャーに触れる 37.6
中国	京都など日本の文化と歴史のある街を観光する 68.3	日本食を食べる 68.3	温泉に入る 54.5	買い物をする 52.8	ポップカルチャーに触れる 26.5
韓国	温泉に入る 49.6	日本食を食べる 35.2	京都など日本の文化と歴史のある街を観光する 34.9	ポップカルチャーに触れる 27.9	買い物をする 21.8
タイ	京都など日本の文化と歴史のある街を観光する 79.8	日本食を食べる 77.8	温泉に入る 62.9	買い物をする 62.0	ポップカルチャーに触れる 52.6

日本に対する好感度はタイで90%超、アメリカで80%近く。 イギリス・フランスは70%前後。中国、韓国は30%前後。

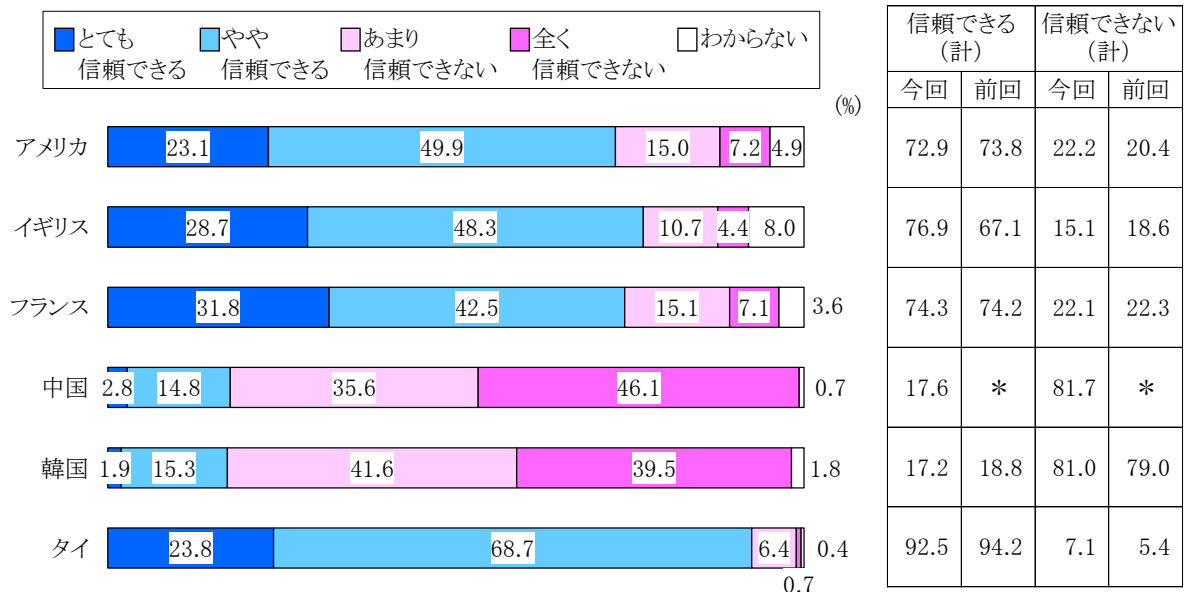
- ・ 日本について「好感が持てる」はタイで90.8%、アメリカで78.6%。イギリス・フランスは70%前後。中国は27.8%、韓国は32.3%と低い。
- ・ 欧米3か国は相互に好感度が高いが、中国はイギリス・フランス・韓国・タイ・アメリカの順に、韓国はアメリカ・イギリス・フランス・中国の順に、タイは日本・イギリス・アメリカ・フランス・韓国・中国の順に50%以上の好感度。
- ・ 日本への信頼度は好感度と同様であるが、中国17.6%、韓国17.2%と極端に低い。

図表 12 各国間の好感度（問1）－「好感が持てる」と答えた比率

		1位	2位	3位	対 象 国				前回調査
		日本	アメリカ	イギリス	フランス	中国	韓国	タイ	日本
実 施 国	アメリカ	78.6	*	85.7	81.0	42.1	39.5	57.7	74.3
	イギリス	69.7	79.4	*	80.2	49.6	30.5	62.5	65.9
	フランス	73.2	76.0	79.8	*	44.5	49.8	59.7	76.3
	中国	27.8	57.5	82.6	82.3	*	74.8	61.9	*
	韓国	32.3	79.8	71.3	70.1	55.6	*	48.3	29.5
	タイ	90.8	79.4	85.6	76.2	51.5	66.8	*	94.1

※前回調査では日本についてのみ好感度を質問した。

図表 13 日本の信頼度（問2）



日本と聞いて思い浮かべること、アメリカは「第二次世界大戦」、イギリス・タイは「日本食」、フランスは「文化」、中国は「抗日戦争」、韓国は「嫌い」が1位。

- ・ 日本と聞いて思い浮かべることの挙げてもらったところ、アメリカは「第二次世界大戦、原爆、真珠湾」、イギリス・タイは「日本食、寿司など」、フランスは「文化、文明、伝統、芸術」、中国は「抗日戦争、中国侵略」、韓国は「嫌い、不快、不信」が1位。
- ・ 欧米の3か国では、「日本食」「文化」「科学技術」、中国、韓国は近代の歴史にまつわる事柄、タイは観光に関連する事柄が、それぞれ上位に挙げられた。

図表 14 日本と聞いて思い浮かべること（各国上位 10 位）（問 14）

※各欄右端の数字はその内容を挙げた人の数

アメリカ（回答者887人）	イギリス（回答者921人）	フランス（回答者891人）
第二次世界大戦、原爆、真珠湾 143	日本食、寿司、生魚 93	文化、文明、伝統、芸術 120
文化、歴史 78	国、島国 86	日本食、寿司、料理 117
日本食、寿司 76	車、バイク、そのメーカー 78	科学技術 56
科学技術 54	科学技術 49	原発、事故、災害、津波、福島 50
国、外国、島国 45	戦争、第二次世界大戦、 46	漫画、アニメ 44
友人、友好的 22	国旗 44	相撲、柔道、武道、空手 26
車、車のメーカー 21	日本人、人々 44	旅行 24
製造業、製品 20	電化製品（製品やメーカー含む） 31	富士山 19
人々、日本人 20	東京 30	侍、刀 18
美しい 19	東の国、東洋、アジア 29	桜 15
	津波、地震、原発事故・被害 29	

中国（回答者994人）	韓国（回答者892人）	タイ（回答者1000人）
抗日戦争、中国侵略 202	嫌い、不快、不信 221	日本食、寿司、刺身、ラーメン 236
南京大虐殺 100	侵略、36年間の日本支配 159	富士山 178
桜 67	慰安婦 157	桜 170
ハイテク、先進的な技術 59	歴史認識、曲解 57	雪 66
アニメ、漫画 58	マナーが良い、公的秩序、親切 52	東京 36
日本食、寿司 39	隣国、近い 28	着物 32
富士山 34	独島問題 25	温泉 26
魚釣島問題 26	地震、放射能、原発事故、福島 21	火山 17
軍国主義 25	安倍晋三 15	車、車メーカー 16
電気製品 24	日本食 12	観光 16
		津波、地震、原発 16

調査結果については、ホームページでも掲載します。
 （新聞通信調査会 HP <http://www.chosakai.gr.jp/> 18日（月）掲載予定。）

調査の概要

●調査国と調査日程、調査方法、調査会社、調査地域

調査国	調査日程	調査方法	調査会社	調査地域
アメリカ	1月13日～17日	電話調査	SSRS	全国
イギリス	1月15日～17日	電話調査	TNS	全国
フランス	1月18日～23日	電話調査	CSA	全国
中国	2月1日～5日	面接調査	CRCリサーチセンター	北京、上海、広州、瀋陽、西安、成都、武漢、合肥、南京、青島
韓国	1月15日～19日	電話調査	Gallup Korea	全国
タイ	1月14日～1月31日	面接調査	I PS OS Thailand	バンコク、チェンマイ、ウドーンターニー、ソクララー

※電話調査では、複数回答の質問において、回答に偏りが出ないように、選択肢の読み上げ順をランダムにした。

●回収サンプルの構成

アメリカ	男性	503	49.4%	中国	男性	503	50.3%
	女性	516	50.6%		女性	497	49.7%
	10代(18-19歳)	20	2.0%		10代(18-19歳)	44	4.4%
	20歳代	119	11.7%		20歳代	260	26.0%
	30歳代	119	11.7%		30歳代	218	21.8%
	40歳代	114	11.2%		40歳代	236	23.6%
	50歳代	178	17.5%		50歳代	168	16.8%
	60歳代	210	20.6%		60歳代	72	7.2%
	70歳以上(70-96歳)	227	22.3%		70歳以上(70-79歳)	2	0.2%
	拒否	32	3.1%		合計	1,000	100.0%
合計	1,019	100.0%					
イギリス	男性	545	54.4%	韓国	男性	507	50.0%
	女性	456	45.6%		女性	506	50.0%
	10代(16-19歳)	38	3.8%		10代(19歳)	22	2.2%
	20歳代	76	7.6%		20歳代	168	16.6%
	30歳代	99	9.9%		30歳代	164	16.2%
	40歳代	169	16.9%		40歳代	204	20.1%
	50歳代	177	17.7%		50歳代	224	22.1%
	60歳代	168	16.8%		60歳代	149	14.7%
	70歳以上(70-98歳)	224	22.4%		70歳以上(70-79歳)	82	8.1%
	不明	50	5.0%		合計	1,013	100.0%
合計	1,001	100.0%					
フランス	男性	485	48.4%	タイ	男性	500	50.0%
	女性	518	51.6%		女性	500	50.0%
	10代(18-19歳)	20	2.0%		10代(18-19歳)	52	5.2%
	20歳代	148	14.8%		20歳代	228	22.8%
	30歳代	187	18.6%		30歳代	230	23.0%
	40歳代	171	17.0%		40歳代	260	26.0%
	50歳代	156	15.6%		50歳代	178	17.8%
	60歳代	170	16.9%		60歳代	46	4.6%
	70歳以上(70-94歳)	151	15.1%		70歳以上(70-80歳)	6	0.6%
	合計	1,003	100.0%		合計	1,000	100.0%

●質問一覧

質問	選択肢
<p>問 1. あなたは、次の国々についてどう思っていますか。(回答はそれぞれ1つずつ)</p> <p>(1)アメリカ (2)イギリス (3)フランス (4)日本 (5)中国 (6)韓国 (7)タイ</p>	<p>1 とても好感が持てる 2 やや好感が持てる 3 あまり好感が持てない 4 全く好感が持てない</p>
<p>問 2. あなたは、日本を信頼できる国だと思いますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 とても信頼できる 2 やや信頼できる 3 あまり信頼できない 4 全く信頼できない</p>
<p>問 3. 日本についての知識や情報はどこから得ていますか。(回答はいくつでも)</p>	<p>1 自国のテレビ、新聞、雑誌 2 自分の家族や親戚、知人 3 インターネット 4 日本人の友人、知人 5 訪日経験 6 学校教育 7 得ていない</p>
<p>問 4. 現在のあなたの日常生活において、新聞の情報をどの程度信頼しているか、点数でお答えください。全面的に信頼している場合は100点、全く信頼していない場合は0点とし、普通の場合を50点としてお答えください。「新聞を読まない」あるいは「分からない」場合でも、大体の感じでお答えください。</p>	
<p>問 5. 将来の新聞についてどう思いますか。あなたの考えがAとBのどちらに近いからお答えください。(回答は1つ)</p> <p>A インターネットなどの普及により新聞の役割が少なくなってくる B 今までどおり、新聞が報道に果たす役割は大きい</p>	<p>1 Aに近い 2 どちらかと言えばAに近い 3 どちらとも言えない 4 どちらかと言えばBに近い 5 Bに近い</p>
<p>問 6. あなたは、日本のメディアをご存知ですか。(回答はいくつでも)</p>	<p>1 NHK (ワールドTV、ラジオジャパンなど) 2 共同通信社 3 時事通信社 4 日本の新聞 (朝日、毎日、読売、日経、産経など) 5 知っているものはない</p>
<p>問 7. あなたは、日本のことが報道されると関心を持って見聞きますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 とても関心がある 2 やや関心がある 3 あまり関心がない 4 全く関心がない</p>
<p>問 8. あなたは、次のことがらを日本のメディアが自国に対して積極的に報道してほしいと思いますか。(回答はそれぞれ1つずつ)</p> <p>(1) 日本の政治、経済、外交政策 (2) 日本の国際協力や平和維持活動 (3) 日本の科学技術 (4) 日本の歴史と文化 (5) 日本の生活様式や食文化 (6) 日本のファッション、アニメ、音楽 (7) 日本の観光情報</p>	<p>1 積極的に報道してほしい 2 報道してほしい 3 あまり報道しなくてもよい 4 報道しなくてもよい</p>
<p>問 9. あなたは日本に行ったことがありますか。(回答は1つ)</p>	<p>1 行ったことがある 2 行ったことはない</p>
<p>問 10. あなたがもし日本に行くとしたらどのようなことをしたいと思いますか。(回答はいくつでも)</p>	<p>1 日本食を食べる 2 京都など日本の文化と歴史のある街を観光する 3 温泉に入る 4 買い物をする 5 ポップカルチャーに触れる 6 その他 7 特にな 8 日本に行きたいとは思わない</p>

質問	選択肢
<p>問 11. あなたがもし日本に行くとしたらどこに行きたいと思いますか。(回答はいくつでも)</p>	<p>1 東京 2 京都、奈良 3 北海道 4 九州、沖縄 5 富士山 6 東京ディズニーリゾート、ユニバーサルスタジオジャパン 7 その他 8 特にない 9 日本に行きたいとは思わない</p>
<p>問 12. 近年、世界各地でテロ事件が起こっていますが、あなたは、次のメディアのテロ報道やテロ情報についてどう思いますか。(回答はそれぞれ1つずつ)</p> <p>(1) 新聞 (2) テレビ (3) ラジオ (4) インターネットのニュースサイト (5) SNS (facebook, twitter など) (6) 雑誌</p>	<p>1 とても信頼できる 2 やや信頼できる 3 あまり信頼できない 4 全く信頼できない</p>
<p>問 13. あなたは、報道の自由についてどう思いますか。(回答はそれぞれ1つずつ)</p> <p>(1) 報道の自由は常に保障されるべきだ (2) 現在の報道を見ていると、圧力をかけられても仕方がないと思う (3) 政府が国益を損なうという理由でメディアに圧力をかけるのは当然だと思う (4) メディアは報道の自由を振りかざしていると思う</p>	<p>1 そう思う 2 どちらかと言えばそう思う 3 どちらかと言えばそうは思わない 4 そうは思わない</p>
<p>問 14. あなたが「日本」と聞いて思い浮かべることを一言でおっしゃってください。</p>	

諸外国における対日メディア世論調査

2016年4月発行

発行 公益財団法人 新聞通信調査会

東京都千代田区内幸町2-2-1

日本プレスセンタービル1階

電話 03-3593-1081